

長子配付



# ちさか 学校だより 3月

平成26年3月12日(水)

金沢市立千坂小学校



## 「ありがとう！六年生」

前回にご案内したとおり、「届け！6年生へ！！心からありがとう～感謝の気持ちを倍返した♪」のスローガンのもと、「6年生を送る会」を2月28日(金)に開催し、劇や合奏で在校生みんなの感謝の気持ちを6年生に伝えることができました。

前日のリハーサル参観には多くの皆様にご参観いただき、ありがとうございました。



全校合唱



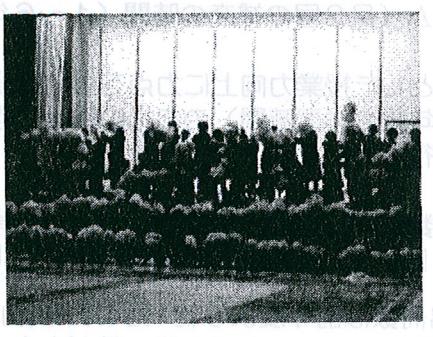
1年：おかげで大きくなりました



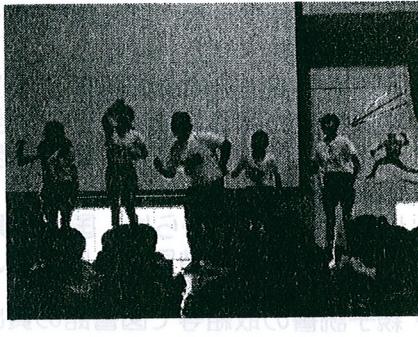
2年：山の春



3年：三年とうぱ



4年：喜4DANCE



5年：思い出アルバム



6年：ルパン三世のテーマ



プレゼント渡し



## <微小粒子状物質(PM2.5)注意喚起情報への対応>

2月26日のように、石川県では、微小粒子状物質(PM2.5)の濃度が1日平均値で $70\text{ }\mu\text{g/m}^3$ (1立方メートル当たり 70 マイクログラム)を超えると予測される日には、「PM2.5に関する注意喚起情報」を発表します。注意喚起情報が発表された場合、次の対応措置を目安にマスクなども利用して行動して下さい。

- ・屋外での長時間の激しい運動や外出をできるだけ減らす。
  - ・屋内でも、換気や窓の開閉を必要最小限にするなど、外気の侵入をできるだけ少なくし、その吸入を減らす。
  - ・呼吸器系や循環器系疾患のある方、子ども、高齢者等は、体調に応じて、より慎重に行動する。
- ※ PM2.5は工場などで石炭などの化石燃料が大量に使用されると発生しやすくなりますが、日本では今のところ、大気中のPM2.5は大きく健康を害することはないレベルにとどまっています。しかし、実はタバコの煙の中にもPM2.5は大量に含まれています。子どもたちの健康のために、PM2.5への注意喚起をお願いします。

## 第2回学校評議員会及び学校関係者評価委員会(2/17実施)より

今後さらによりよい教育活動を実施するために、本校の教育重点目標について今年度も自己評価しました。その際、本校教職員はもとより保護者や児童にもアンケート協力を仰ぎ、その他の各種データももとにしながら、成果と課題をまとめました。また、2月17日には学校評議員会及び学校関係者評価委員会を開催し、学校評議員と育友会会长に御意見をいただきました。概要は以下の通りです。

### 【金沢「糸半」教育の推進】

#### 【取り組み】

- ・育友会や地域、関係機関と連携した合同防災訓練（7月）、防火扉を閉めての避難訓練、不審者侵入対応研修を開催しました。
- ・登下校時のゲリラ的な暴風雨に対して、一斉下校や下校留保などの措置をとりました。
- ・全校集会やお昼の放送など、ボランティアについて気づかせる場を設け、ボランティアそうじを積極的にしている児童の名前を発表したり掲示したりして認め賞賛しました。
- ・わくわくタイム（たてわり遊び）に、高学年が低学年を誘って遊ぶように計画しました。

#### 【結果・意見】

- ・7月の防災訓練は、地域と学校が一体となってねらいに迫るためのよい会となりました。
- ・9月はゲリラ的な大雨が多くだったので、冠水時の通学路の迂回などを検討する必要があります。
- ・ボランティアをする子が増えるように「見える化」などで、さらに指導を工夫する必要があります。
- ・たてわり遊びやたてわり遠足で6年児童が他学年の面倒をみる姿が見られました。
- ・校区の子どもたちの挨拶は大変よいが、挨拶運動が一部の児童の負担とならない配慮が必要です。

### 【学習指導】

#### 【取り組み】

- ・朝学習を充実させ、がんばりタイム（月2回の補充の時間（1～6年）＊1年はぐんぐんタイム）の取組を継続させています。
- ・言語力充実のための国語科を中心とした授業力向上に力点を置いた研究推進。（公開研究会の実施）
- ・家庭学習の習慣づけ（10分×学年数の学習時間）のための取組や図書の貸し出しを増やす取組、授業と関わりをもたせる読書活動を行っています。

#### 【結果・意見】

- ・児童アンケートからは、国語や算数が「好き」、「分かる」といった肯定的な評価が得られました。
- ・各種学力調査の結果からは算数、国語で市平均を上回りましたが、「条件に従って記述する力」に課題がみられました。
- ・親子読書の取組等で図書館の貸出冊数は前年度より約1万4千冊増加しました。また、課題意識を持つて読むなど読書の質の向上も見られました。しかし、個人差が大きいのが課題で、手立てが必要です。
- ・家庭学習充実の取組は個別指導を行っていますが、まだまだ意欲の個人差が大きいので量と質の点で指導の工夫が必要です。

### 【小中一貫教育】

#### 【取り組み】

- ・小中学校での指導の一貫性を図り、より効果的な学校教育を行うために、小中一貫教育のための各セクション毎の担当部会や小中間での授業参観、アドバイザーを招聘した検討会、小中教職員の懇談の場を増やし、小中学校間で連続性・系統性のある指導の推進を図りました。

#### 【結果・意見】

- ・一貫教育に対する教員の意識をさらに上げていく必要があり、小中一貫の各部会の協議内容を各学校でしっかりと報告し合うなど教員同士の連絡をさらに活性化していくことが大切です。
- ・結果を求めるより先生方が中学校を知るために足を運び、中学校を知ることが大切です。

### 【保健管理・安全管理】

#### 【取り組み】

- ・計画的な体力アップ（走れ千坂っ子、走れ千坂っ子記録会、とべ千坂っ子）で積極的に取り組みました。また、県教委の「シャトルボール」に全クラスで取り組みました。
- ・虫歯の罹患率を低下させるための活動（全校集会 学校だより 保健だより）に取り組みました。

#### 【結果・意見】

- ・体力テストの結果では、昨年度は県平均を下まわっていた投げる力が向上し、県平均を上回りました。
- ・虫歯の罹患率はやや改善し40%前後ではあるものの、金沢市の平均より10%程度高い状況です。
- ・保護者の歯科保健への関心を一層高めるため、今後も保護者に伝え連携して取り組むことが大切です。
- ・「走れ千坂っ子」の教育的意義と良さを再確認し、運営の難しさを乗り越えて続けていってほしい。

数々の貴重なご意見をいただきました。

よりよい学校づくりを目指して、今後も見直し、改善を図っていきたいと思います。